

平成27年東通村消防団出初式



観閲者の越善村長

1月7日、東通村体育館駐車を会場に、平成27年東通村消防団出初式が行われました。

この日は朝から厳しい冷え込みとなり、時おり雪が吹き付け中での挙行となりました。しかし、濱端源三団長以下団員305名と特別参加の下北試験場消防隊は終始精悍な面持ちで式に臨み、越善靖夫村長の観閲を受け、防災への気を引き締め直した様子でした。

式では、参集した団員の現況報告・通常点検が行われ、越善村長や濱端団長ほか関係者が砂子又八幡宮へ拝礼し、今年1年の無災害を祈願しました。

場所を東通村防災センター前に移し行われた分列行進では、濱端団長を先頭に3大隊に分か

れた団員が堂々と行進。続いて行われた纏振り演技では、一糸乱れぬ華麗な纏振りが披露されました。天候が厳しさを増す中での披露となりましたが、団員たちの吹雪をものともしない勇姿に、参観者からは大きな拍手が送られました。

濱端団長からは「不屈の消防精神のもと、地域住民の強い信頼に応えるため、なお一層の訓練に励み日常活動に精励したい」と決意が述べられ、越善村長は「日頃からの献身的な活動に感謝申し上げます。東通村消防団の伝統を大切にしながらも、引き続き、日々の訓練と消防活動に精励されるよう強く願います」と訓示しました。



厳しい表情で指揮を執る濱端団長



雪を踏みしめ力強い纏振り演技を披露



寒さに耐え整列する団員の皆さん



砂子又八幡宮にて無災害を祈願



吹雪のなか堂々たる分列行進